



2016年9月、総務省が発表した「統計からみた我が国の高齢者（65歳以上）」によると、「日本の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合」が過去最高の27.3%（平成28年9月15日現在）となりました。

この数字から見ると、現在の日本においては「4人に1人が高齢者」ということとなります。さらに、厚生労働省所属の機関である国立社会保障・人口問題研究所では、2035年には総人口に占める高齢者の割合が33.4%となり、「3人に1人が高齢者」になるという推計も出されています。

このような社会背景のなかで、高齢化は私達にとって身近なものとなり、各家庭においては親の介護による介護離職も問題となりはじめています。また、IT業界・ホテル業界などのサービス業・ものづくり・政治・法律等の様々な分野でも、高齢者や認知症への理解が求められるようになってきています。

ミライ塾では、このような超高齢社会において、それぞれの業界を牽引できる人材を育成するために、介護の仕事を通して、

今、企業が求める『**社会人基礎力**』を身につけ、どの業界でも活躍できる人材の育成を目指しております。

- POINT 1 前に踏み出す力〔主体性・働きかけ力・実行力〕
- POINT 2 考え抜く力〔課題発見力・計画力・想像力〕
- POINT 3 チームで働く力〔発信力・傾聴力・柔軟性・情報把握力・規律性・ストレスコントロール力〕

更に、『**介護 × ○○ の 2 つの専門性**』を持った人材の育成を目指しております。

- POINT 1 高齢者理解や認知症への専門性
- POINT 2 進学する学校で学ぶ専門性

現在は、IT・教育・ホテル業界等への就職を希望する塾生の皆さんが、頑張っています。

## 学生・保護者の皆様へ

いま、日本の多くの若者は、大学等への進学において、「経済的な理由による進学困難」そして「卒業後の奨学金の返済」という大きな問題を抱えております。

一般的には、入学金や前期の学費は入学前に納入する必要があります。しかし、多くの学生が利用している日本学生支援機構などの奨学金制度では貸付けの時期が入学後となるため、経済的に進学が困難な家庭においては、入学前に必要となるお金が用意できずに就学を諦めてしまうケースも多くみられます。また、昨今は在学中に日本学生支援機構の奨学金を借入れ、卒業後に多額の奨学金の返済に苦しむ若者の問題も社会問題となってきました。

ミライ塾は、そのような社会問題を少しでも解決しようと、2015年にスタートしました。

**ミライ塾の奨学金制度の大きな特徴は、「初年度の学費を無利子で借入れることが可能であること」「在学中の完済も可能であること」そして「個々の学生に合わせたきめ細やかなサポート」にあります。**

受入先の決定については、学生の成長が期待できる就労環境がある介護施設を選別し、初年度の学費の貸付け（無利子）支援を引き出し、事前面談を重ね、本人の希望にできる限り沿えるように勤務スタイルの提案や学費返済のシミュレーションを確認したうえで、就労体験することで、学業と仕事を両立するイメージを固めてから、最終的に勤務先を決定しております。

入塾後は、安心して勉学と仕事を両立できるようにメンター制度を導入しており、塾生の皆さんを学業・仕事・生活の側面から様々なサポートを行っております。

### [ 学生の皆さんへ ]

学生の皆さんは今、将来の夢をかなえるため、進学または就職などについて人生の岐路に立っていると思います。ミライ塾では、そんな皆さんの夢を少しでもかなえるお手伝いができればと思っております。

ミライ塾生として、皆さんに求めることはただ一つです。それは、自分の夢をかなえたいという強い「覚悟」です。働きながら学校へ行くことは、決して楽なことではありません。しかし、皆さんにその覚悟があれば必ず夢は実現できると思います。

学業と仕事の両立をしていくなかでは、寝坊してしまったりしてしまうことがあるかもしれません。その時は、全力で悔しがってください。そして、どうしたら同じ失敗をしないか全力で考えて、実行してください。その積み重ねが、皆さんを超高齢社会を担う「100人に1人の人材」へと成長させるのだと確信しております。夢をかなえ、「100人に1人の人材」になるために、一歩踏み出しましょう。ミライ塾では、皆さんの「夢をかなえる」を全力で応援します。

ミライ塾 塾長 奥平幹也